

令和7年度 施策評価シート

施策の大綱	6. 行政経営	評価担当者
基本施策	(2) 財産・情報の適正な管理・活用	総務財政部長 小林 恵太
目指す姿	市の財産と情報が適切に管理されています。	
関連する分野別計画	亀山市公共施設等総合管理計画	

■ SDGs

基本施策に関連する SDGsのゴール	16 平和と公正を すべての人に 	
SDGs推進の考察	個人情報の保護に関し、適切な管理に努めるとともに、市民に開かれた市政の実現を図るため、公文書の情報公開制度の適切な運用に努め、説明責任のある透明性の高い公共機関の発展に寄与した。	

■関連する主な事業

(単位:千円)

[illegible]

太字：主要事業

■ 成果指標

指標	単位	現状値		実績値				目標値
				R4	R5	R6	R7	
1	不正アクセスによる情報の改ざんや流出等があった回数	回	0	R2	0	0	0	0
2	施設の統廃合・複合化を決定した公共施設数(累計)	施設	2	R2	2	2	4	4
3								
4								
5								
6								
7								
8								

■ 市民アンケート調査

項目		現状値 [R2]	1次 [R5]	2次 [R6]	市民アンケートの考察 (令和6年度施策評価内容を参考記載)
1	行政情報を市民が入手しやすいしくみが整っている	重要度 0.95 満足度 ▲ 0.12	1.13 0.01	1.09 ▲ 0.09	重要度及び満足度ともに数値が下がった。市民への情報発信を高めるため、様々な媒体を通じて更なる情報提供の仕組みを充実させていく必要がある。
2		重要度 満足度			
3		重要度 満足度			
4		重要度 満足度			

■ 施策推進 [施策の方向]

施策の方向	施策推進に関する考察
① 行政情報の適切な管理	公文書の取扱いの適正な運用を図るとともに、電子決裁システムの運用方法について検証を進め、電子化による文書管理制度の確立に努めた。
② 公有財産の効率的・効果的な活用	施設状況や高騰する建設コストを踏まえライフサイクルコストを把握し、財政状況を踏まえて、統廃合や複合化等を計画的に進める。また、引き続き、活用予定のない未利用地の売却等を進める。
③ 新庁舎整備の推進	令和18年度開庁に向けて、関係部署と連携し、建設地や事業手法について検討を進める。また、財政状況を踏まえ、引き続き、庁舎建設基金を計画的に積み立てる。
④	
⑤	
⑥	
⑦	

総合評価

行政情報の適切な管理については、情報システムのクラウド運用により適切に管理できている。また、令和5年度から文書を電子的に収受・供覧等し、決裁を行う仕組み(電子決裁)を導入し、決裁に係る文書等について可能なものからデジタル化を図り、電子決裁による処理が定着した。電子決裁により決裁等に要する時間の削減と決裁状況、文書の所在等が電子上で即時に確認でき、迅速な意思形成等につながった。公有財産の効率的・効果的な活用については、施設の統廃合や複合化等を計画的に進めるため、亀山市公共施設等総合管理計画の改定に向けた基礎資料の作成に着手するとともに、民間との連携により未利用地売却に取り組んだが、旧市営住宅用地については売却に至らなかった。新庁舎整備の推進については、整備に係る財源確保として、庁舎建設基金に1億円を積み立てたが、建設地や整備手法については、他市事例の調査や事業者ヒアリングを行いつつ、検討を継続することとした。	C あまり進まなかった
---	----------------

今後の展開方針

行政データの適切な管理については、継続して適切なデータ管理を徹底するとともに、情報セキュリティ意識を高め、行政情報の適正管理を徹底する。公有財産の効率的・効果的な活用については、施設の利用状況や高騰する建設コストを踏まえた更新及び維持管理コストを踏まえた上で、平成29年に策定した亀山市公共施設等総合管理計画の見直しを含め、公共施設の適正配置や効果的な施設整備等を計画的に進める。新庁舎整備の推進については、令和18年度開庁に向けて、関係部署と連携し、建設地や事業手法についてより慎重な検討を進めるとともに、財政状況を踏まえつつ、庁舎建設基金を計画的に積み立てることにより整備の財源確保を図る。